

令和 7 年度事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

I 法人管理

1 会議等

(1) 理事会

年月日	事項	主な内容
6月2日	第 39 回理事会 (ホテル白萩)	1 令和6年度事業報告及び財務諸表の承認 2 評議員及び役員の辞任に伴う後任者の推薦 3 投資有価証券の買換えの承認 4 第16回定時評議員会開催の設定 ＜報告事項＞ 1 代表理事等の職務執行状況の報告 2 宮城県公益認定委員会による立入検査の結果
6月17日	第 40 回理事会 (森林組合会館3階会議室)	1 副理事長の選定
11月5日	第 41 回理事会 (決議の省略)	1 利益相反取引に関する件
3月19日	第 42 回理事会 (森林組合会館3階会議室)	1 令和8年度事業計画及び収支予算の承認 2 利益相反取引の承認 ＜報告事項＞ 1 代表理事等の職務執行状況の報告 2 資産運用の経過報告

(2) 評議員会

年月日	事項	主な内容
6月17日	第 16 回評議員会 (森林組合会館3階会議室)	1 令和6年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認 2 理事の選任 3 監事の選任 4 評議員の選任 5 定款の一部改正の承認 6 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正の承認 7 投資有価証券の買換えの承認
6月17日	第 17 回評議員会 (森林組合会館3階会議室)	1 評議員会会長の選任

(3) 監査

年月日	事項	主な内容
4月21日	定期監査 (森林組合会館3階会議室)	1 代表理事等の職務の執行状況 2 令和6会計年度の事業報告及び決算

2 登記に関する事項（仙台法務局）

年月日	事項
6月25日	評議員及び役員の変更に伴う変更登記

3 認定法に基づく届出事項（宮城県知事）

年月日	事項
6月18日	令和6年度事業報告等の提出
7月15日	役員の変更
3月23日	事業の内容の変更
3月30日	令和8年度事業計画書等の提出

4 役員等に関する事項

（ 1 ） 評議員 （任期4年：令和 11 年度定時評議員会まで）

職名	氏名	所属・職名
評議員（会長）	清和 研二	東北大学名誉教授
評議員	大信田 知英	宮城県水産林政部副部長（技術担当）
評議員	佐藤 千昭	栗原市市議会議員
評議員	大久保 正也	農林中央金庫仙台支店副支店長
評議員	高橋 壯輔	一般社団法人宮城県林業公社理事長
評議員	早坂 みどり	住空間工房代表

（ 2 ） 理事 （任期2年：令和 9 年度定時評議員会まで）

職名	氏名	所属・職名
理事(理事長)	大内 伸之	宮城県森林組合連合会代表理事会長
理事(副理事長)	大類 清和	宮城県水産林政部林業振興課長
理事(常務理事)	永井 隆暁	宮城県森林組合連合会代表理事専務
理事	壹岐 昇	仙台市経済局農林部長
理事	後藤 勉	加美町森林整備対策室長
理事	高橋 長晴	南三陸森林組合代表理事組合長
理事	米澤 光秀	宮城県木材協同組合理事長

（ 3 ） 監事 （任期4年：令和 11 年度定時評議員会まで）

職名	氏名	所属・職名
監事	小野 和宏	宮城県町村会理事兼事務局長
監事	猪内 太郎	宮城県水産林政部森林整備課長
監事	結城 淳	宮城中央森林組合代表理事組合長

※職名は就任時のもの

Ⅱ 公益事業

1 公益目的 1

1) 普及啓発事業（運用益）

森林の働きや森林管理及び森林整備の重要性、木の良さ等を広く一般に啓発するため、第18回「みやぎの森林・林業写真コンクール」を開催して応募作品の展示・公開を行ったほか、森林資源の循環に資する森林づくり活動に支援した。

また、県内事業体の活動紹介と併せ、各種研修案内など林業に関する情報を広く発信するため、情報誌である「MIYAGI FORESTRY JOB NAVI Vol. 3」を発刊し関係機関に広く配布した。

第18回写真コンクール 募集テーマ ・みやぎの森林に生きる ・宮城の森林の恵み ・宮城の森林のぬくもり	応募 56 名（男 45 名，女 11 名） 出品数 131 点 展示 ・東北電力グリーンプラザ（アクアホール） 12月16日 ～ 12月20日 来場者 1,106 人 ・県民の森中央記念館展示ホール 2月2日 ～ 3月2日
宮城の林業と働きたい人を結び 未来へと繋いでいく情報誌 「MIYAGI Forestry Job Navi」 Vol. 3	内容 ・林業事業体の特徴的な取組の紹介 (特集:チーム林業，森林組合 2組合) (誌上職場見学:民間事業体 2社) ・就職前後のサポート，各種研修情報 等



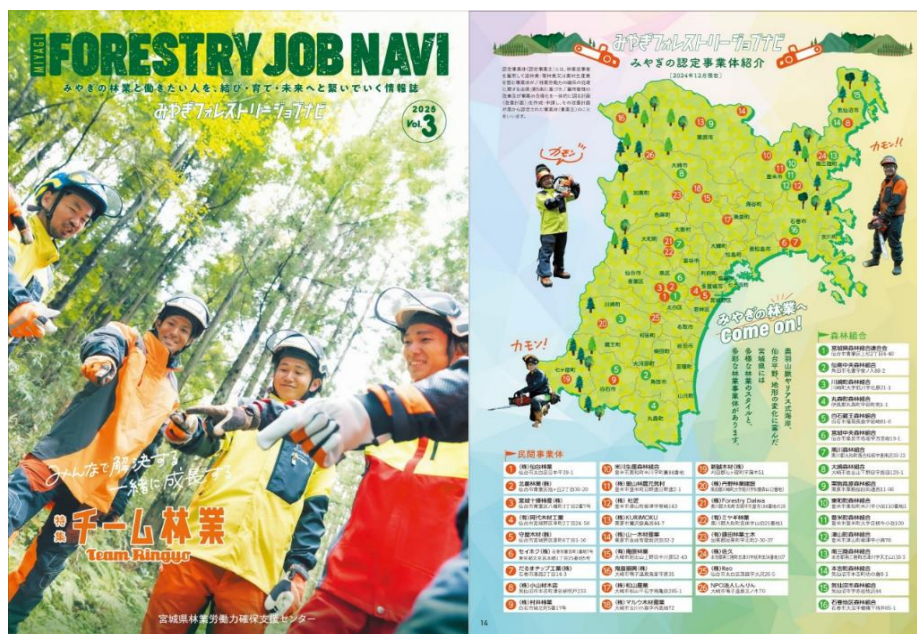
最優秀賞 「残り柿」



優秀賞 「黎明」



優秀賞 「銀河の森」



「MIYAGI FORESTRY JOB NAVI」(Vol. 3)

2 公益目的2

1) 森林整備担い手対策基金事業 (運用益, 補助: 宮城県)

林業雇用環境の改善に向けて、事業主が負担する共済掛金の一部に対して助成を行った。また、林業従事者の社会保険等の加入促進に向けて、チラシの配架や事業体への助言を行った。

助成先	人数	助成金額 (円)	助成内容
森林組合系統 (17)	285 人	5,112,000	林退共等の共済掛金
林業事業体 (28)	262 人	5,524,000	
計	547 人	10,636,000	運用益 8,436 千円 県補助 2,200 千円

3 公益目的3

1) 林業担い手育成確保対策事業 (運用益, 委託: 全森連)

林業労働力の確保・育成に関する情報交換を図るため、林業労働力確保支援センター運営協議会を開催した。なお、宮城労働局との連携強化を図るため、同局が主催する「林業雇用改善推進会議」との合同開催として実施した。

その他、林業への新規就業促進と職場定着を図るため、労確センターの林業雇用管理改善アドバイザーと連携し、林業事業体の雇用管理改善を支援する研修を開催したほか、事業体の雇用改善の取組を補佐するため、個別相談会を実施した。

① 林業労働力確保支援センター運営協議会及び林業雇用改善推進会議合同会議

日 時 1月28日

委員数 10 名

内 容 関係者による雇用情勢・林業労働力対策等に関する意見交換
(宮城労働局, 宮城県, 労確センターの各者から情報提供)

② 雇用管理改善研修・事業体の雇用改善に関する個別相談

林業雇用管理研修会 第 1 回

日 時 7月30日

参加者 15 事業体 森組 8 , 民間 7 参加者 22

林業雇用管理個別相談会 第 1 回

日 時 8月1日

参加者 3 事業体 森組 1 , 民間 2

林業雇用管理研修会 第 2 回

日 時 11月12日

参加者 16 事業体 森組 6 , 民間 10 参加者 20

林業雇用管理個別相談会 第 2 回

日 時 11月13日

参加者 2 事業体 森組 1 , 民間 1



研修の実施状況



個別相談の実施状況

2) 無料職業紹介事業

厚生労働大臣の許可を受け，林業分野の求人求職の紹介斡旋を行った。また林業就業支援業務等の受講生や一般参加者を対象に林業企業による合同面接会を実施した。

ア 求人求職紹介斡旋

区分	令和7年度	令和6年度
求人依頼	36 事業体 (82 名)	28 事業体 (70 名)
求職応募	72 名 (うち就業決定 6 名) ※研修等の受講斡旋 (8 名) (受講者の就業 4 名)	55 名 (うち就業決定 8 名) ※研修等の受講斡旋 (7 名) (受講者の就業 5 名)

イ 林業企業合同説明会

日 時	11月29日 (土) 10:00 ～ 15:30
場 所	エスポールみやぎ (宮城県青年会館) 大会議室
参加者	(求人) 13 事業体 (森林組合 5 民間 8) 求職者 10 名



会場の様子①



会場の様子②



個別事業体による就業相談①



個別事業体による就業相談②

3) 就労環境改善事業（補助：宮城県）

林業事業体等が就業者の安全な作業を確保するため、安全防具等の装具を整備する経費の一部を助成した。

（ 助成事業体数 13 ）

品名	数量		品名	数量	
	R7	R6		R7	R6
ヘルメット	62	14	かかり木処理	2	3
無線機付ヘルメット	16	16	救急用担架・医療セット	0	30
防護作業衣	65	85	無線機（レシーバー）	18	26
防護作業靴	64	112	その他	8	6
空調服	109	100	合 計	344	392

4) 宮城県森林マネジメント力強化支援業務（委託：宮城県）

事業体の経営改善及び安定化に向けて、経営者層及び業務責任者層に対する具体的な経営ビジョンの形成支援や、事業体ごとの課題解決に向けた方向性等を検討する実践的な研修を通して、経営意識の改革と感覚の醸成を図る研修を行った。研修は、現場感覚からの経営改善と実践的な行動計画及び実施目標を定めることを目標として、聴き取り及び自己組織の会計分析・事業分析を中心に実施した。

ア 事業マネジメント力強化支援研修

事業体経営において重要な要素である事業管理・現場管理について理解を深めるとともに、その実践と管理意識の定着に向けて組織内での共通理解と合意形成を図っていく。

イ 経営マネジメント力強化支援研修

林業経営に必要な経理・財務状況を把握することの重要性を理解し、経営ビジョンの意味、構築方法や組織改善（アクションプラン）の作成及び推進方法を検討する。併せて、経営診断を通じて設定した目標の達成に向け、ロードマップを作成する。

区分		回数	参加事業体数及び参加者数			
事業 マネ ジメ ント 力強 化支 援研 修	県職員向け基礎講義	2 日	4 事務所	4 人		
	事業体向け基礎講義	3 日	4 事業体	森林組合	民間 4	4 人
	事業体へのインタビュー (実践活動結果の助言)	2 日	4 事業体	森林組合 県事務所 3	民間 4	6 人 3 人
	経営者等との面談 (目標達成に向けた助言)	2 日	4 事業体	森林組合 県事務所 2	民間 4	6 人 2 人
経営 マネ ジメ ント 力強 化支 援研 修	事業体向け基礎講義	1 日	4 事業体	森林組合 4 県事務所 3	民間	8 人 3 人
	事業体インタビュー (取組・活動状況の助言)	2 日	4 事業体	森林組合 4 県事務所 3	民間	8 人 3 人
	経営者・後継者との面談 (目標達成に向けた助言)	2 日	4 事業体	森林組合 4 県事務所 3	民間	8 人 3 人



新永講師



(事業マネジメント) 基礎講義の状況



(経営マネジメント) 基礎講義の状況



(経営マネジメント) 事業体インタビュー

5) 林業労働災害対策意識向上研修（委託：宮城県）

林業労働災害が頻発する本県の現状を受け、林業事業体における労働安全意識の一層の向上と安全対策の徹底による労働災害の未然防止と新規参入者等の定着と育成を図れる職場環境の改善を進めるため、管理職員及び経営者に対して林業労働災害の現状や取るべき対策を示し、職場内研修や訓練の実行を支援するための研修を実施した。

区分	回数	参加事業体数及び参加者数		
事業体向け研修	1回	8事業体(森林組合 5 民間 3)	10人	
指導者（県職員）向け研修	1回	7事務所，県庁，個人	13人	



水野講師



講演の様子



事業体管理職員・経営者向け研修



事業体指導者（県職員）向け研修

4 公益目的4

1) 新規林業就業希望者に対する講習（委託：宮城県，委託：全森連）

林業への就業を希望される方または強く興味を持つ方に対し、事前に森林・林業の基礎知識を学び、また、林業技術の実務体験を通じて、林業への就業意識を醸成する機会として講習等を実施し、円滑な就業に向けた支援を行った。

ア 林業就業支援講習

林業事業体への就業を希望する方を支援するため、講習を平日に集中開催する。

講習期間	日数	受講者(人)		
		男	女	計
11月11日 ～ 11月29日	11日間	4	1	5



座学の状況



体験実習の状況

イ 新規林業就業者育成支援研修

林業事業体への就業を希望する現在就業中の方を支援するため、研修を土曜日又は日曜日に開催する。

講習期間	日数	受講者(人)		
		男	女	計
6月8日 ～ 12月13日	9日間	9	0	9



チェーンソー操作実習



林業事業体の現場体験

ウ インターンシップの実施

就労意欲が高く、早急な就業を希望される方に対し、事業体とマッチングを行い、実際の現場で作業を見学・体験してもらい、円滑な就業を支援した。

講習期間	日数	受講者(人)		
		男	女	計
12月13日	1日間	5	0	5



事業体の概要説明



現場での作業（枝打ち等）体験

2) 山仕事ガイダンス開催業務（委託：宮城県）

林業に興味のある人や就業を考えている人の意識高揚と併せて、林業の実態を理解してもらうため、林業事業体による仕事内容や就業後の支援内容、森林・林業の現状や就業までの流れと就業後の支援内容の紹介、林業現場の見学などを実施した。

また、林業に係る知識・技能を一定程度習得した実業高校生またはそれ以外の高校で林業への就業に興味を持つ生徒を対象に、就業意欲の醸成に向け林業に関するガイダンス及び合同企業説明会を開催した。

ア 山仕事ガイダンス

回	月日	時間	研修項目
1	7月5日 申込み 7名 男 7女 0 参加 6名 男 6女 0	① 10時～正午 ② 13時～15時	○林業の現状について ○林業への就業について ○林業事業体からの説明 ○個別相談
2	11月1日 申込み 6名 男 6女 0 参加 4名 男 4女 0	10時～15時	○林業の現状について ○林業への就業について ○作業現地見学と疑似体験



林業の現状について



林業事業体からの説明



林業現場（ウッドリサイクルセンター）の見学



ハーベスタシミュレーターの操作

イ Forest Jobハイスクール

月日	時間	研修項目	受講者(人)
6月3日	ガイダンス 11時 0分 から 12時 50分	○森林・林業の基礎について ○林業への就業・支援について ○事業体から概要と仕事の説明	17 男子 10 女子 7
	企業説明会 13時 30分 から 15時 20分	○林業事業体の自己紹介 ○グループ面接・個別相談	



森林・林業の基礎等の説明



事業体からの業務の説明



林業で働く卒業生からの就業感想



グループ面接の状況

3) 「緑の雇用」担い手確保支援事業（委託：全森連）

事業を活用する認定林業事業体に対し、研修事業計画・事業実績の作成・指導及び監督・検査を実施するとともに、就業者(研修生)に対する集合研修を実施した。

(受講事業体数： 16)

研修区分	研修日数（日）	受講者（人）
フォレストワーカー(1年目)集合研修	25	17
フォレストワーカー(2年目)集合研修	28	15
フォレストワーカー(3年目)集合研修	23	14
フォレストワーカー(事業体OJT)研修	8ヶ月	46
フォレストリーダー 研修	16	14



監督・検査の状況



事業体のOJT研修



集団討議の状況



伐倒実習

【集合研修】



フォワーダ操作実習



森林調査・測量実習

【集合研修】

4) メンテナンス技術等支援業務（委託：宮城県）

高性能林業機械のメンテナンスに関する知識と技能を習得するため、日常の保守・点検及び脱着手順等を学び、簡易な故障の際に緊急対応ができる操作者を養成した。

研修の名称	開催年月日	受講者数
高性能林業機械メンテナンス技術等支援研修(1回目)	9月9日	6 名
高性能林業機械メンテナンス技術等支援研修(2回目)	10月21日	5 名

5) 安全講習等助成支援事業（委託：宮城県）

ア 伐倒技術指導者養成研修

（Ⅱ期 1年目）

県内で重大な林業労働災害が頻発している背景から、伐倒作業における労災事故の撲滅に向けて、1年目は安全で正確な伐倒技術の習得のための研修を実施したほか、2年目は技術が未熟な新人等に的確なコーチングができる指導者の養成研修、3年目には所属組織内での指導を補佐するための指導マニュアル(案)の作成研修を実施した。

さらに、所属組織に関わらず広く伐倒技術をコーチングできるパブリックコーチの養成を図るため、3年目研修修了者を対象とした研修を実施した。

区分	期間	日数(日)	備考
Check&Clinic研修 (1年目)	5月27日 ～ 5月30日 6月9日 ～ 6月12日	8	受講者 4 名
指導者養成研修 (2年目)	4月15日 ～ 4月18日 5月12日 ～ 5月16日 6月24日 ～ 6月25日	9 2	受講者 2 名 成果発表会
指導マニュアル作成研修 (3年目)	7月8日 ～ 7月10日	3	受講者 3 名
パブリックコーチ 養成研修 (Ⅱ期 1年目)	4月8日 ～ 4月10日 4月22日 ～ 4月24日 6月25日	6 1	受講者 3 名 パネラー参加



Check&Clinic研修（フォーム再確認）



Check&Clinic研修（映像で課題確認）



指導者養成研修状況



指導者養成研修(成果発表会)状況



伐倒技術指導者認定式



指導マニュアル作成研修(実践指導)



パブリックコーチ育成研修(実践指導)



成果発表会におけるパネラー参加

イ 安全講習・技能講習等助成

認定事業体や育成経営体等に所属する従事者が安全な作業を行うのに必要な「安全講習」や「技能講習等」の受講に要した経費の一部を助成した。

(助成事業対数 14)

講習項目	助成講習数	受講者数(人)
刈払機取扱作業安全衛生教育	11	19
伐木の業務に係る特別教育	11	26
荷役運搬機械等によるはい作業従事者安全教育	1	1
車両系建設機械(整地等)運転技能講習	3	9
不整地運搬車運転技能講習	2	3
小型移動式クレーン運転技能講習	2	4
玉掛け技能教習	2	5
伐木等機械の運転の業務に係る特別教育	0	0
走行集材機械の運転の業務に係る特別教育	1	2
簡易架線集材装置等の運転業務	0	0
高所作業車運転技能講習	1	1
ドローン操縦技能講習	0	0
合計	34	70

注) 事業体数は実数、助成講習数と受講者数の合計は延べ数

貸借対照表

令和8年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	23,941,132	56,545,374	△ 32,604,242
未収金	45,227,464	1,023,942	44,203,522
前払費用	0	539,000	△ 539,000
貯蔵品	2,693	4,073	△ 1,380
流動資産合計	69,171,289	58,112,389	11,058,900
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	712,977,506	626,201,831	86,775,675
預け金	929	929	0
基本財産合計	712,978,435	626,202,760	86,775,675
(2) 特定資産			
什器備品	1	605,469	△ 605,468
特定資産合計	1	605,469	△ 605,468
(3) その他固定資産			
リース資産(有形)	1,334,186	2,001,279	△ 667,093
その他資産合計	1,334,186	2,001,279	△ 667,093
固定資産合計	714,312,622	628,809,508	85,503,114
資産合計	783,483,911	686,921,897	96,562,014
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	380,208	380,022	186
リース債務	687,970	664,495	23,475
未払金	10,600	37,315	△ 26,715
未払消費税等	1,547,300	972,600	574,700
流動負債合計	2,626,078	2,054,432	571,646
2. 固定負債			
長期リース債務	712,320	1,400,290	△ 687,970
固定負債計	712,320	1,400,290	△ 687,970
負債合計	3,338,398	3,454,722	△ 116,324
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	0	560,370	△ 560,370
出捐金	500,000,000	500,000,000	0
寄付金	99,761	99,761	0
基本財産評価差額	211,046,768	124,531,828	86,514,940
指定正味財産合計	711,146,529	625,191,959	85,954,570
(うち基本財産への充当額)	(711,146,529)	(624,631,589)	86,514,940
(うち特定資産への充当額)	(0)	(560,370)	(△ 560,370)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	68,998,984	58,275,216	10,723,768
(うち基本財産への充当額)	(1,831,906)	(1,571,171)	260,735
(うち特定資産への充当額)	(1)	(45,099)	(△ 45,098)

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	24,245,761	25,499,206	△ 1,253,445
基本財産受取利息	24,245,761	25,499,206	△ 1,253,445
② 補助金収益	6,698,370	7,258,740	△ 560,370
受取地方公共団体補助金	6,138,000	6,138,000	0
受取補助金振替	560,370	1,120,740	△ 560,370
③ 委託事業収益	68,494,371	59,115,736	9,378,635
森林づくり事業収益	814,000	814,000	0
林業雇用管理改善事業収益	2,794,120	2,912,856	△ 118,736
森林マネジメント事業収益	7,679,000	4,930,000	2,749,000
林業労働災害防止対策事業収益	1,249,000	1,185,000	64,000
林業就業支援事業収益	1,808,367	2,115,045	△ 306,678
新規林業就業者育成支援事業収益	8,912,000	6,641,000	2,271,000
山仕事ガイダンス事業収益	3,919,000	3,174,000	745,000
緑の雇用育成事業収益	25,017,884	23,573,835	1,444,049
メンテナンス技術等委託収益	1,279,000	1,272,000	7,000
安全講習支援委託収益	15,022,000	12,498,000	2,524,000
④ 雑収益	74,238	18,597	55,641
受取利息	74,238	18,597	55,641
雑収益	0	0	0
経常収益計	99,512,740	91,892,279	7,620,461
(2) 経常費用			
① 事業費	87,390,066	84,847,035	2,543,031
給料手当	23,238,692	22,671,639	567,053
臨時雇賃金	28,938	44,400	△ 15,462
福利厚生費	3,797,309	3,883,502	△ 86,193
会議費	126,493	112,375	14,118
旅費交通費	6,442,079	4,868,649	1,573,430
通信運搬費	260,343	272,673	△ 12,330
減価償却費	1,248,277	1,854,428	△ 606,151
消耗什器備品費	78,034	19,300	58,734
消耗品費	940,266	1,281,208	△ 340,942
修繕費	20,500	79,640	△ 59,140
印刷製本費	71,500	27,500	44,000
賃借料	4,167,681	3,253,179	914,502
保険料	151,750	155,020	△ 3,270
諸謝金	17,001,965	13,476,826	3,525,139

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費	1,614,973	1,623,854	△ 8,881
役員報酬	80,500	73,500	7,000
給与手当	997,981	990,029	7,952
福利厚生費	163,076	170,374	△ 7,298
会議費	5,270	4,474	796
旅費交通費	86,870	112,315	△ 25,445
通信運搬費	5,850	2,734	3,116
減価償却費	24,284	23,602	682
消耗什器備品費	0	35,660	△ 35,660
消耗品費	17,236	21,143	△ 3,907
賃借料	33,106	15,822	17,284
租税公課	40,600	41,600	△ 1,000
支払手数料	51,097	50,371	726
支払負担金	50,000	50,000	0
支払利息	2,238	2,960	△ 722
委託費	44,000	15,840	28,160
広告宣伝費	6,125	6,019	106
雑費	6,740	7,411	△ 671
経常費用計	89,005,039	86,470,889	2,534,150
評価損益調整前経常増減額	10,507,701	5,421,390	5,086,311
基本財産評価損益等	269,358	△ 58,625	327,983
基本財産売却損益	△ 53,291	5,071	△ 58,362
評価損益等計	216,067	△ 53,554	269,621
当期経常増減額	10,723,768	5,367,836	5,355,932
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,723,768	5,367,836	5,355,932
一般正味財産期首残高	58,275,216	52,907,380	5,367,836
一般正味財産期末残高	68,998,984	58,275,216	10,723,768
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産受取利息	24,245,761	25,499,206	△ 1,253,445
②基本財産評価損益等	107,852,914	△ 23,473,682	131,326,596
③基本財産売却損益	△ 21,337,974	2,030,578	△ 23,368,552
一般正味財産への振替額	△ 24,806,131	△ 26,619,946	1,813,815
当期指定正味財産増減額	85,954,570	△ 22,563,844	108,518,414
指定正味財産期首残高	625,191,959	647,755,803	△ 22,563,844
指定正味財産期末残高	711,146,529	625,191,959	85,9

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・数量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金	4,001
預金	普通預金 (七十七銀行一番町支店)	運転資金	23,937,131
未収金	宮城県森林組合連合会委託業務	公1 森林づくり支援センター委託業務の未収金	814,000
	全国森林組合連合会委託業務	公4 緑の雇用委託業務の未収金	215,464
	宮城県	公3 公4 林業労働力関係業務の未収金	38,060,000
	宮城県	公2 公3 林業労働力関係業務の補助金	6,138,000
貯蔵品	切手	公益目的事業との共用資産	1,730
	イクスカ	公益目的事業との共用資産	963
流動資産合計			69,171,289
(固定資産)			
基本財産 投資有価証券ほか	国内ETF (大和証券) ほか	公益目的保有財産との共用資産であり、運用益も共用としている。	712,978,435
	・基本財産501,348,740円を投資有価証券で運用している ・基本財産の内訳 指定正味財産：500,099,761円 一般正味財産：1,248,979円 計 501,348,740円		
特定資産 什器備品	伐倒練習機 1基 大衡村大衡字はぬ木14-1 宮城県林業技術総合センター	公益目的保有財産	1
その他 リース資産 固定資産	リコー複合機 RICOH Pro C5300S	公益目的保有財産との共用資産	1,334,186
固定資産合計			714,312,622
資産合計			783,483,911
(流動負債)			
預り金	職員	社会保険料	380,208
リース債務	リコーリース株式会社	リコー複合機	687,970
未払金	タイムズ24株式会社	カーシェアリング利用料	10,600
未払消費税	仙台北税務署	令和7年度消費税	1,547,300
(固定負債)			
長期リース債務	リコーリース株式会社	リコー複合機	712,320
負債合計			3,338,398
正味財産			780,145,513

当財団は、基本財産を投資有価証券で運用していることから、その期末の評価額を基本財産の額とし、毎年度の計算書類において基本財産に係る投資有価証券の価額に計上することを令和5年3月28日の第32回理事会及び令和5年6月19日の第14回評議員会で決議している。